



県民だより

第60号

●1994年6月22日発行 ●編集・発行/栃木県企画部広報課 〒320宇都宮市埴田1丁目1番20号 ☎0286(23)2192
年4回発行(6、9、12、3月)次号は、9月20日頃発行予定です

●県人口 1,977,338人 男985,060人 女992,278人(1994年5月1日現在)
●世帯数617,080世帯

躍動する栃木の観光



「やすらぎの栃木路」'94マロニエフェスティバル

平成6年5月20日から5月26日までの7日間、東京都新宿区の新宿Nビルで「'94マロニエフェスティバル」を開催しました。

益子焼きなどの伝統工芸品、色鮮やかな花々や映像による栃木の四季など、栃木の魅力を会場いっぱい介绍了しました。

「マロニエフェスティバル」は、東京をはじめ首都圏の人々に、栃木県の現在の姿を知ってもらい、産業や観光、文化など栃木県の魅力を総合的に宣伝・紹介し、県のイメージアップを図るために行っているものです。このほか大阪府でも、「マロニエ栃木フェスティバル」を開催(10/7~11)します。

また、首都圏や関西における観光情報発達の基地として、とちぎ観光センター(東京都)や大阪事務所(大阪府)を置いて、栃木県の魅力の宣伝に努めています。



鹿沼さつき娘による、新宿駅での観光キャンペーン



魅力ある 「観光とちぎ」づくり

県商工労働観光部
観光課
TEL 0286-23-3210

広域観光活性化対策事業

栃木県は、日光や那須などに代表されるように、美しく豊かな自然、歴史や文化遺産に恵まれ、首都圏はもとより広く国内外から多くの観光客が訪れています。

特に、近年における余暇時間の増大やレジャー生活志向など、国民の生活様式が様々な変化の中で、観光の振興は、単に地域の産業・経済の活性化に効果を及ぼすだけでなく、地域の環境・文化の創造にもつながり、今後ともますます重要な役割を果たすことが期待されています。

県では、本県の宝とも言うべき貴重な自然を守りながら、二十一世紀を展望し、「魅力ある「観光とちぎ」づくり」の推進と観光レクリエーション産業の育成・振興を図るため、各種の施策を実施しています。

蔵の街(栃木市)



華嚴の滝(日光市)



国分寺町(天平の丘公園に設置されたトイレ「チャンネル19番」)

県内には、日光や鬼怒川、那須などの国立公園指定地域以外にも、魅力的なところが数多くあります。それらの地域を対象に、広域的な立場で複数の市町村が行う「観光振興計画」づくりや、観光施設の整備等について、県は助成を行っています。

すでに三十三市町村において実施され、平成六年度からは県央地区の八市町村が計画づくりを開始します。こうして整備された遊歩道や公園、駐車場等は、観光客や地域住民の憩いの場として様々な活用がなされています。

観光立県推進運動(TAP90's)

TAP90's

TAP90'sとは、九十年代観光振興行動計画(ツーリズム・アクション・プログラム)の略です。

中央と地方の官民が力を合わせ、それぞれの地域の特色を活かした観光の活性化を図るため、具体的な施策の検討や提言を行う中央会議と地方会議を開きます。

この提言に基づき、多くの観光客に訪れてもらうため、全国に向けて大規模な観光キャンペーンを行うなど、地域の観光振興を積極的に進めます。

この計画は、運輸省が昭和六十三年四月に策定し、平成元年度から実施されています。

観光立県推進地方会議

平成七年五月に栃木県と群馬県が
合同で開催を予定

栃木県と群馬県には、それぞれ日本を代表する日光国立公園、上信越高原国立公園があるなど、豊富な観光資源に恵まれています。

この会議を栃木県と群馬県が合同で開催し、より広域的な視点から、両県の観光資源の効果的な活用方策を検討し、これからの観光振興に役立てようというものです。

また、これを契機として、県内各地で様々なイベントを催すなど、光キャンペーンを展開し、栃木県のイメージアップと観光のPRを行います。

観光とちぎほっと＆ クリーン推進事業

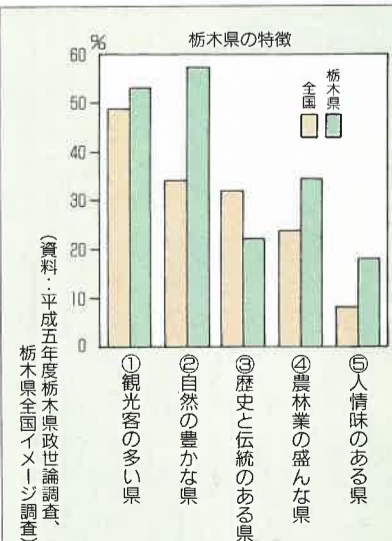
「あたたかい心で
観光客を迎えよう」

沿道を飾る花、美しい街並みや観光施設は、訪れた人々の心を和ませてくれます。県内の主な観光地や本県の玄関口である宇都宮市では、観光事業者や地域の方々との協力を得て観光ボランティアの育成・活用、花いっぱい運動などを進め、訪れた観光客を「心から迎え、もてなす」魅力ある観光地づくりを進めています。



栃木県は観光客の多い県

平成五年度に栃木県が行った県のイメージ世論調査では、栃木県の特徴として、全国では48・9%、県内では52・9%の人が「観光客の多い県」と答えています。平成四年、県内観光客入込数 50,976,800人



トピック 塩原温泉ビジターセンターオープン



塩原町は、溪谷、紅葉、温泉等優れた自然景観を有しており、年間約360万人もの観光客がここを訪れています。昭和25年日光国立公園に編入されてから、自然景観の維持や、公園内施設の適正な利用が図られるよう遊歩道や園地等自然公園施設の整備を行っております。

県では、塩原町を訪れる人々に、自然公園施設の案内等を行うため、「塩原温泉ビジターセンター」を建設し、平成6年5月20日にオープンしました。

ビジターセンターでは、自然公園指導員等による自然観察会や探鳥会など、いろいろな行事も開催する予定です。県民の皆様が自然とのふれあいを通して自然を理解し、また自然を大切にすることを育み、自然保護思想の高揚に役立つことを願っております。

(県林務部 自然環境課)

■場 所 塩原町大字下塩原(塩原簡易保険センター隣)

■施設の内容

☆敷地面積 約6,400㎡ ☆ビジターセンター 367㎡(木造鉄骨造平屋)

☆展示物 塩原温泉を基本テーマに塩原の自然と歴史・人文等を中心に次のようなものがあります。

○温泉ジオラマ……塩原には、11の温泉がありますが、その温泉の湧出メカニズムを模倣化したもので、地域の名勝地(回顧の吊橋等)が一目でわかります。

○ボードカービン……野鳥の模型を展示し、ボタンを押すと野鳥の鳴き声がながれます。

○写真パネル……動・植物、地質、地形を展示。

○だんらんコーナー

畳といろりのくつろぎスペースで、スライドにより四季おりおりの風景等を紹介します。

☆開館時間

5月1日→11月30日/9:00~17:00

12月1日→4月30日/9:00~16:00

☆休館日

毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

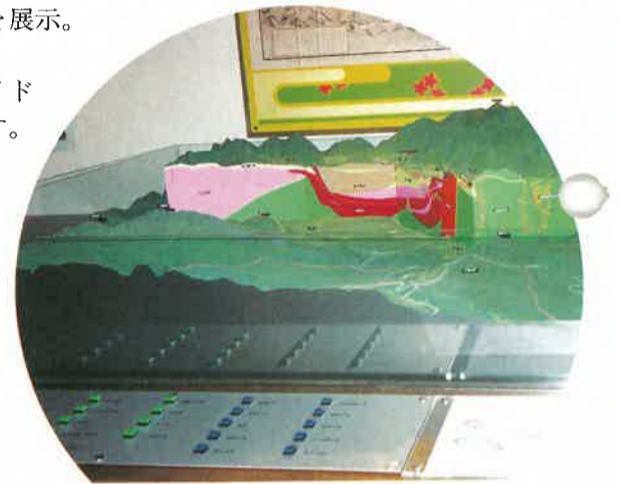
12月1日→3月31日の第2・4水曜日

12月29日→1月3日

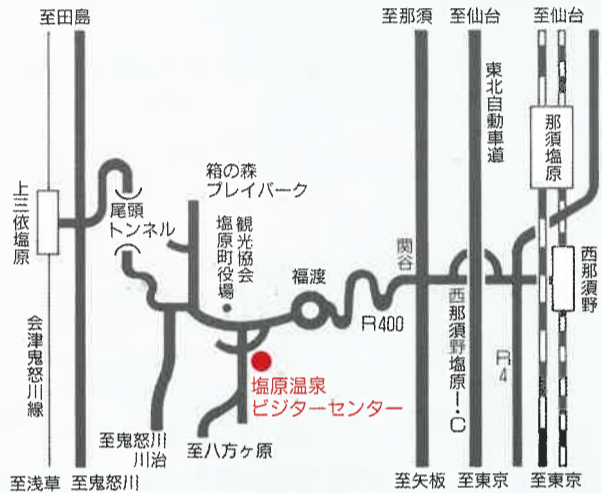
☆入場無料

■問合せ先 塩原温泉ビジターセンター

☎0287-32-3050



温泉ジオラマ



とちぎのまちづくり

杉並木のまちづくり(今市市)

今市市は、日光街道・会津西街道・例幣使街道の三街道に、37kmにわたり約一万三千二百本の杉が連なる、杉並木のまちとして有名です。国の特別史跡・天然記念物にも指定されているこの杉並木は、四百年近く今市の変遷を見てきています。そこで、今市市では、杉並



杉並木まつり

木にこだわった市民参加のまちづくりを推進しています。例年八月に「杉並木マラソン」、十一月に「杉並木まつり」を開催していますが、これらのイベントは、市のイメージアップやPRにも役立っています。しかし、杉並木の枯損数は年々増加の傾向にあり、このまま推移すれば百年後には消滅してしまうだろうと警告されています。そこで、杉並木と市民生活の「共生」を掲げる今市市では、杉並木の保護に関する市民意識の啓発や調査研究に役立てようと、今市にゆかりの深い二宮尊徳の思想、「推譲」の考え方を取り入れて、「杉並木基金」を設置しました。

また、市民の杉並木への愛着を深める目的で昨年開園した「杉並木公園」は、市外からの来訪者も増えて、交流の場としても定着しています。こうした試みは、今市市の目指す「オアシス都市」の水と緑と花にあふれた潤いのある快適な公園都市づくりの一環として行われているものです。今後も、自然環境と生活環境との調和のとれたまちづくりを推進していきたいと考えております。

今市市 企画財政課
☎0288-1311

桜のまち二宮(二宮町)

市街地の緩やかな丘陵地を除けば平坦で肥沃な農用地が広がる二宮町は、貫流する鬼怒川、五行川、小貝川の三大河川により、いにしえから豊かな水の恵みがもたらされてきました。また、町名の由来となっている二宮尊徳翁が、小田原藩の命を受けて農村復興に励み、人々に報徳の仕法を施し、歴史に残る偉業を成し遂げた桜町陣屋(役所跡)をはじめとして、優れた自然や歴史的・文化的遺産が数多く残されています。

二宮町は、これらの自然と歴史・伝統を生かして、「さくら百万本のまちづくり」や「桜咲く尊徳ゆかりの里づくり」など、「桜」と「尊徳」を織り込んだまちづくり事業を展開しています。

特に、町内の史跡や文化財、桜の名所などを道路でつなぐ「フラワーロード(さくらの道)計画」は、これまでのまちづくり事業により設置された桜の名所と従来からの史跡などをルート化するもので、今後の二宮町の重点事業として位置づけています。まちづくりのキーステーションとして、桜をイメージした外観の「久下田駅さくらホール」がこのたび竣工。既に整備してきた駅前広場などと併



桜町陣屋

せて駅周辺整備が完成しつつあります。また、桜の新名所として、「鬼怒さくら公園」や「五行川桜づつみ」などを地域住民の憩いの場として整備してきたところですが、他方、地域住民参加の「花いっぱい運動」なども自治会単位で展開しており、近い将来二宮町を花々で埋め尽くしたいと考えています。

二宮町 企画調整課
☎0285-7411

情報スクランブル

県庁のあて先
〒320 宇都宮市埴田1-1-20

催し

県立美術館の催し

- 死にいたる美術～メモメント・モリ～
西洋の中世から現代にいたるまでの死を主題にした美術を、デューラーから19世紀までの版画60点、戦後から現代までの絵画・立体90点の二部構成で展示します。
▷期間 7月31日(日)～9月25日(日)
▷休館日 月曜日、9月16日
▷観覧料 一般600円、高校・大学生400円
小・中学生200円
▷問合せ先 県立美術館学芸課
☎0286-21-3566

県総合文化センターの催し

- オペラシアターこんにやく座公演
オペラ「森は生きている」
▷日時 7月3日(日) 15:00 開演
▷入場料 S席2,500円、A席2,000円、
B席1,500円、C席1,000円
- 松竹大歌舞伎公演
▷日時 7月19日(火)
13:00・18:00 開演
▷入場料 S席5,000円、A席4,000円、
B席3,000円、学生席1,000円
- ホセ・コランジェロ&
ダンシング・タンゴアルゼンチーノ
▷日時 7月23日(土) 16:00 開演
▷入場料 S席5,000円、A席4,000円、
B席3,000円
- 問合せ先 県総合文化センター企画事業課
☎0286-43-1010

県立博物館の催し

- 第48回企画展「爬虫両生類の世界」
爬虫類・両生類の分類、生態、体のしくみ等を紹介するとともに、ユニークな生きた資料の展示も行います。
▷期間 7月17日(日)～9月4日(日)
- 企画展関連行事
▷関連講座「さわってみようカエル・ヘビ・イモリ」 7月24日(日) 10:00～、14:00～
▷記念講演会「ゆかいでふしぎなイモリのくらし」 8月7日(日) 14:00～
▷参加料 無料
▷申込み先 電話で博物館自然課へ
☎0286-34-1314
- ミニ企画展
▷歴史部門 「明治のフロンティア～矢板武とその周辺～」
7月24日(日)～9月25日(日)
▷美術・工芸部門「水墨山水画の美(1)」
7月12日(火)～8月21日(日)
- ミニ企画展関連講座「明治のフロンティア～矢板武とその周辺～」
▷日時 7月31日(日) 14:00～
▷参加料 無料
▷申込み先 電話で博物館人文課へ
☎0286-34-1313

●体験学習

- ▷「夏の風物詩・風鈴」
7月9日(土) 11:00～12:00
- ▷「ワークシートに挑戦」
7月9日(土) 10:00～11:30
▷対象 小・中学生
▷申込み先 当日博物館受付へ
▷参加料 無料(観覧料は必要)
- 入館について
(企画展・ミニ企画展・常設展の観覧)
▷開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
▷休館日 毎週月曜日
6月30日(木)～7月8日(金)
▷観覧料 一般200円(100円)
大学生・高校生100円(50円)
小・中学生50円(30円)
()内は団体料金

●移動博物館

- ▷「恐竜展」(栗野町)
7月20日(水)～8月31日(水)
- ▷「ところ変われば虫変わる～世界の昆虫・日本の昆虫～」(小川町)
7月21日(木)～8月28日(日)
- ▷「貝の世界」(市貝町)
7月21日(木)～8月28日(日)
- ▷「おもちゃの世界」(黒磯市)
7月27日(水)～7月31日(日)
- ▷いずれも観覧料は無料

●移動講座

- ☆「栃木県の歴史と文化①～②」
▷日時 7月14日(木) 13:30～16:00
9月9日(金) 19:00～21:00
▷会場 藤原町三依地区公民館
▷定員 60名(入場無料)
▷申込み先 電話で同公民館(☎0288-79-0211)
または博物館人文課(☎0286-34-1313)
- ☆「子供昆虫教室～昆虫標本の作り方と体のつくり」
▷日時 7月31日(日) 13:00～15:00
▷会場 小川町ふるさと館
▷定員 30名(入場無料)
▷申込み先 電話で同館(0287-96-4580)
または博物館自然課(☎0286-34-1314)

●問合せ先 県立博物館普及資料課 ☎0286-34-1312

水はみんなの宝です

8月1日は「水の日」

(8月1日～7日は「水の週間」です)
水は、限りある貴重な資源です。うるおいのある豊かな生活を守るために、水をもっと大切に使いましょう。
企画部資源対策課水資源対策室
☎0286(23)2566

募集

本場結城紬織物の製織伝習生の募集

- ▷場所 栃木県紬織物指導所(小山市)
- ▷伝習期間 8～10ヵ月
- ▷入所期日 随時
- ▷募集人員 若干名
- ▷応募資格 重要無形文化財である本場結城紬の製織技術を習得し、伝習期間終了後就業できる方。細かい作業のため、年齢は45歳くらいまでの方が望ましい。
- ▷受講料 無料
- ▷問合せ先 栃木県紬織物指導所
☎0285-49-0009

本場結城紬の糸つむぎ講座 受講生の募集

- ▷栃木県紬織物指導所(小山市)
毎週木曜日 10:00～15:00
- ▷栃木県中央婦人就業援助センター(宇都宮市)
毎月第1・3火曜日 9:30～14:00
- ▷受講料 無料
- ▷問合せ先 栃木県紬織物指導所
☎0285-49-0009

第4回「とちぎの美」写真展公募

- ～とちぎを撮る、とちぎで撮る～
- ▷募集期間 平成7年2月1日(水)～2月12日(日)
- ▷写真展会期 平成7年3月5日(日)～3月12日(日)
- ▷写真展会場 県総合文化センターギャラリー
- ▷部門 自由部門
課題部門 テーマ「ななかま」
- ▷応募資格 県内在住または県内に通勤、通学する中学生以上の者
- ▷賞 最優秀賞(10万円副賞)他
- ▷詳細については、県総合文化センターほか県内写真店等で配布している応募要項をご覧ください。
- ▷問合せ先 県総合文化センター企画事業課
☎0286-43-1010

第5回「わたしたちの生活とバス・鉄道、フォトコンテスト」

- ▷題材 バス・鉄道に関するもの
- ▷応募規格 カラー四ツ切り
- ▷募集期間 6月15日(水)～9月14日(水)
(当日消印有効)
- ▷賞 最優秀賞(10万円副賞)他
- ▷応募先 〒320 宇都宮市埴田1-1-20
県企画部交通対策課「フォトコンテスト」係
または、県内のカメラ店
- ▷問合せ先 県企画部交通対策課
☎0286-23-2187
- ▷県内カメラ店等にある応募用チラシ参照。

平成6年度「統計グラフ」栃木県コンクールの作品募集

- ▷対象 県内の小・中学生、高校生、大学生、一般の方
- ▷課題 自由(小学校低学年は、児童が観察した結果をグラフにしたもの)
- ▷応募方法 用紙の大きさ(仕上げ寸法)
小・中学生:縦72.8cm、横51.5cm
高校生以上:縦103cm、横72.8cm
- ▷送り先 小・中学生:学校所在地の市町村統計主管課
高校生・大学生・一般:県統計課
- ▷締切日 9月2日(金) 県統計課必着
- ▷問合せ先 県企画部統計課☎0286-23-2244
各市町村統計主管課
(応募要領が置いてあります)

案内

愛の血液助け合い県民の集い

- 平成6年度「愛の血液助け合い運動」実施期間(7月1日～31日)中の行事の一環として、献血運動をさらに推進するために開催します。
▷日時 7月28日(木)
午前10時～正午(受付9時20分～)
- ▷場所 栃木会館小ホール
- ▷主催 栃木県、栃木県献血推進協議会、日本赤十字社栃木県支部、栃木県赤十字血液センター
- ▷問合せ先 県衛生環境部薬務課
☎0286-23-3120

那須野が原公園オートキャンプ場 7月1日 オープン!

- 那須連山の裾野、塩原温泉郷の玄関先に位置し、アカマツ・クヌギ・コナラなどの樹林に囲まれ、自然に恵まれた県営那須野が原公園内にあるオートキャンプ場です。
▷所在地 那須郡塩原町大字接骨木地内
- ▷開設 7月1日(予約受付開始6月1日)
- ▷開設期間 通年
(休業日12月29日～翌年1月3日)
- ▷施設概要 管理棟、キャンピング14棟(温泉付)オートキャンプ21サイト、フリーテント7サイト、水洗トイレ、クアールーム(温泉)、炊事棟 ほか
- ▷利用料金 (1泊)
オートキャンプサイト 4,120円、フリーテントサイト2,060円、キャンピング(4人用)16,480円、キャンピング(8人用)28,840円
- ▷管理 栃木県公園福祉協会 那須野が原公園管理事務所
問合せ先 0287-36-1220
予約専用 0287-36-5588

県政テレビ番組 ウィークリー栃木

- 毎週木曜日 午前7:35～7:50 テレビ東京12チャンネル
- 6月30日 「お湯と渓谷のまちへようこそ～塩原温泉ビジターセンター～」(塩原町)
- 7月7日 「もうひとつの那須～初夏の那須高原～」(那須町)
- 7月14日 「出かけよう!アウトドアライフ～那須野が原公園オートキャンプ場～」(塩原町)

レポーター



MINAMI



高松しげお



相馬 宏美

文字放送

- ・NHK総合テレビの電波に多重し、県からのお知らせ、生活情報を常時放送しています。
- ・文字放送を見るには……文字放送を組み込んだ文字放送内蔵型テレビか、文字放送専用アダプターが必要です。

県政ラジオ番組

栃木放送

- 県民の窓
毎週日曜日～金曜日
午後0:15～0:30
- 県政アラカルト「知事さんこんにちは」
毎月第3日曜日
午前9:15～9:45

- 県庁ダイアリー
毎週月曜日～土曜日
午前8:42～8:47
- 週末情報コーナー「とちぎNOWNOWウォッチング」
毎週木曜日
午後1:35～1:40
- 毎週金曜日
午後1:15～1:20

エフエム栃木

- マロニエインフォメーション
毎週月曜日～金曜日
午前9:00～9:05
- クロスオーバー栃木
毎週土曜日
午前9:00～9:18

あなたの声を県政に

県政についてのご意見・ご要望・日常生活でのお困りごとなど、お気軽にご相談ください。

- 中央県民センター ☎0286-23-3765
- 上野真実相談室 ☎0289-64-9419
- 芳賀県民相談室 ☎0285-82-5888
- 県南県民センター ☎0282-24-5665
- 小山県民相談室 ☎0285-22-9164
- 安蘇県民相談室 ☎0283-24-2603
- 足利県民相談室 ☎0284-42-9700
- 県北県民センター ☎0287-23-1555
- 塩谷県民相談室 ☎0287-43-2142
- 南那須県民相談室 ☎0287-83-1555